

各医療機関の長 様

郡山医師会長 土屋 繁之  
郡山市保健所長 塚原 太郎

### 郡山市発熱外来診療所の開設について

医師会関係者の皆様には日ごろから地域医療の確保にご尽力いただきありがとうございます。

この度、郡山医師会と郡山市の連携・協力により、本日から発熱外来診療所における診療を開始することとなりました。同診療所の設置に至る経緯や概要は以下の通りです。既に参加を表明された郡山医師会員の皆様には改めてお礼申し上げますとともに、まだ参加を表明されていない郡山医師会員の皆様にも無理のない範囲でご協力いただきますようお願いいたします。

#### 1. 発熱外来診療所開設の経緯

新型コロナウイルス感染症の発生以来、郡山医師会と郡山市保健所は市内医療機関と連携し、発熱や呼吸器症状を有する患者への医療の確保に取り組んできました。この間、発熱患者から保健所（帰国者・接触者相談センター）に診療に関するご相談をいただいた場合、初期診療はかかりつけ医を受診するようご案内し、初期診療をしていただいた結果、新型コロナウイルス感染症が疑われる患者については、帰国者・接触者外来を置く医療機関（市内 5ヶ所）に診療をお願いしてきました。

このような中で、①何らかの理由でかかりつけ医を受診できない方からの相談、②かかりつけ医を受診した後症状が改善しない方からの相談が増加しており、これらの患者さんを診療する医療機関が必要となってきております。このような課題に対応するため、郡山医師会、市内医療機関と郡山市保健所で協議を重ねてきた結果、関係機関のご協力のもと郡山市発熱外来診療所を開設することとなりました。

#### 2. 発熱外来診療所の概要

発熱外来診療所は、郡山市が南東北第二病院の外来ブースを借り受け、診療は郡山医師会からの応募に応じてくださった医師会員が行います。診療科目は内科のみです。対象者は高校生以上の郡山市在住者です。診療時間は郡山医師会員の先生方に対応していただくため、平日の 14～16 時です。大勢の発熱患者が一時に集まると患者間感染がおこるおそれがあるため、完全予約制となりました。

#### 3. 発熱外来診療所受診者の選定方法

当初の受付数には限りがあるため、発熱患者から保健所（帰国者・接触者相談センター）にご相談いただいた場合、保健師が患者の病状や発症後 14 日以内の行動についてお伺いした上で、以下のように調整します。

- (1) 海外渡航歴や首都圏等への移動歴がない初診の発熱患者には、まず、かかりつけ医を受診するよう勧めます。何らかの理由でかかりつけ医を受診できなかった場合には、発熱外来診療所の予約を受け付けます。

- (2) 一度医療機関を受診したが症状が改善しない場合には、かかりつけ医に再診することを勧めますが、発熱外来診療所を希望される場合には予約を受け付けます。
- (3) 発症後 14 日以内に海外渡航歴や首都圏等への移動歴がある患者については、発熱外来診療所ではなく、帰国者・接触者外来を置く医療機関（市内 5 ヶ所）を紹介します。また、(1) や (2) の際、予約が一杯になったため発熱外来診療所を受診できない患者にも、同様に同医療機関を紹介します。

#### 4. 発熱外来の診療内容

- (1) かかりつけ医の診療を受けられない初診の発熱患者には、医師が一般的な診療を行います。この際、感染防止のため、診察にはタブレットを使用し、医師は患者の隣の部屋で対面せずに診療することを基本とします。
- (2) 他の医療機関で診療を受けたが症状が改善しない方には、医師が必要と判断した場合、PCR 検査を行います。PCR 検査の実施の適否を判断するため、エックス線検査や CT 検査を行うことは可能です。これらの検査は南東北第二病院との委託契約により南東北第二病院のスタッフが実施します。
- (3) PCR 検査を行う場合、市と委託契約した南東北第二病院の医師が検体を採取しますので、郡山医師会の先生方が採取することはありません。
- (4) 処方薬については、院外処方となりますので、必要な時は、処方箋を発行してください。

#### 5. 郡山医師会員の先生方をお願いしたいこと

発熱外来診療所は新型インフルエンザの時の発熱外来とは異なります。市内の発熱患者を集中的に診療するわけではありません。あくまでも、初発の発熱患者はかかりつけ医に診療（対面であれ遠隔であれ）していただくことが前提となっており、何らかの理由でかかりつけ医を受診できない方が対象であることをご理解ください。郡山医師会有志の先生方にご協力いただく以上、診療できる患者数には限りがあることをご理解ください。この診療所はタブレットを使用した施設内遠隔診療です。ご自身の診療所で発熱患者と非発熱患者を分けて診療するよりも、感染防護性が高く負担の小さい診療形態ですので、一人でも多くの郡山医師会員の参画を期待しております。